

「郷間やすひさ」4年間の主な足跡

一「人生の一大事件」となった宇都宮市長選への出馬要請一

今から3年前の秋、右のような新聞報道が地元紙の一面に掲載されました。

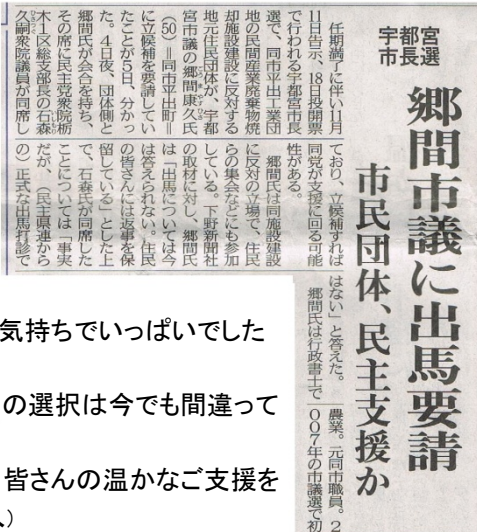
この日から結論を出すまでの10日間、私は各メディアの記者たちに追いかける日々を過ごしました。(妻の不安げな顔とともに…)

多くの方々から「ぜひ決心を！」とか、「もう、あんたしかない」とか色々あおられました。結局、私は出馬を見送りました。

ご期待いただいた皆さんには大変申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、一人で冷静に考えた末の結論でした。

「まずは、議員として任期を全うすべき」…この選択は今でも間違っていないかと思っています。

さあ、これからまた「夢」に向かって走ります。皆さんの温かなご支援を心からお願いいたします。(市議会議員 郷間康久)



私は政治の世界に足を踏み入れる時に、「Altruism=利他主義」という生き方を貫こうと決めました。自分のためではなく人のために何ができたかで人生の価値が決まるというもの…まだまだ、やるべきことはいっぱいありそうです。



「音楽とお酒のない国」には絶対に住めない私…。だったらこの宇都宮を、美味しさたっぷりの食酒喝采都市、鼻歌いっぱい音戯(おとぎ)の国にしてみようと思っています。関心のある方はご連絡ください。



職員と市民でつくる組合系シンクタンク「シティ・ラボ・うつのみや」では、今年からミドル世代の未婚者を対象とした合コン「Ren.Com(レンコン)」を過去5回開催しました。この事業は今後も継続します。参加ご希望の方は、gohma48clear@yahoo.co.jpまでお問い合わせください。

▼議会内での所属会派、社会貢献活動など▼

「統一会派 フォーラム・みんな」を結成

私は一昨年の5月に新会派を結成し、代表に就任いたしました。

この会派は、無所属、保守系、革新系の一部、元みんなの党のメンバーなどで構成される議論会派で、お互いを尊重し、会派拘束を否定する全国異例の会派といわれています。

私は、この会派運営を通じて「馴れ合い議会」と評された宇都宮市議会の改革をめざしながら、市民に身近で透明感のある議会づくりに取り組んでいます。

「宇都宮市議会に新しい風を吹かせたい」…この目標が少しずつ実現しています。

今後の活動にご期待ください。

「短足おじさんの会」を通じた児童養護

児童養護施設に入所する子供たちのほとんどは親がいるということを皆さんはご存知でしょうか？

その昔は孤児が中心でしたが、今は児童虐待や育児放棄、親の犯罪収監などが理由の多くを占めています。

あまりにも悲しすぎる事実だと思いませんか？

私は、昨年より友人たちと共に施設を訪ね、小さなお節介を始めました。グループの名前は「短足おじさんの会」。ひっそりと応援するのではなく、体を張って入所児童たちと接し、施設退所後に「当たり前の人」となれるよう手に職習得のための応援をしています。ぜひ、皆さんの力添えをお願いいたします

仕事・役職・地域での活動あれこれ



行政書士として相続や遺言、離婚などの相談を受け付けています。



消防団員として16年目。かなりの高齢団員ですが、今も現役で頑張っています。



一昨年の5月から宇都宮清陵高のPTA会長として様々な保護者活動を実践中です。

宇都宮の ^{うつつ} 夢を現に、^{かたち} 想いを実に…

「？」(疑問)を「！」(感動)へ